



理事長より新年のご挨拶

皆様に新年のお喜びを申し上げます。2010年もRDA Japanをよろしくお願いいたします。

2009年のRDA Japanは、障がい者乗馬活動を支援するという本来の仕事をこなす事が出来ました。なんとといっても、数年ぶりにインストラクター資格認定事業が実施できたことは大きな喜びです。これを経て、また新たな指導者層が誕生しました。

11月には人と動物の関係学会のご支援を得て、障がい者乗馬に関するシンポジウムが開けたことも大きな成果でした。このシンポジウムでは、米国グリーンチムニーズにおけるNAHRAのインストラクションに従った乗馬活動に関する報告が基調講演として、東京農業大学の金子明日香先生および帝京科学大学の横山章光先生によってなされ、続いてパネルディスカッションでは、RDAのほか日本障害者乗馬協会(JRAD)の三木則夫先生、ANTRAの局博一先生(東京大学)、東京農業大学バイオセラピー学科の滝坂信一先生が演壇にお並びになり、それぞれのお立場から忌憚りの無いご意見を披瀝下さいました。結果的に、それぞれの団体の姿勢に基本的な違いはなく、今後は是非共同して障がい者乗馬に向き合っていきたい事が確認されました。これにはオブザーバとして出席された日本乗馬倶楽部振興協会の草野信一先生も賛同され、今後も協会として協力したいとのお言葉をいただきました。こういった旧年中の成果を踏み台として、2010年もがんばっていききたいと思うところであります。

先日、中国であった国際セミナーでモンゴルの研究者と歓談する機会を得ました。セミナー自体は持続的な社会構築というテーマでしたが、モンゴルの方とは馬の話で盛り上がりました。興味深かったのは「モンゴル人と水」の関係でした。草原に住むモンゴル人の大半は泳ぐ事ができず、川や湖などをひどく恐れるということです。私と歓談したモンゴル人は水深が膝くらいあるともう怖くて歩く事が出来ない、とっていました。もちろん背の立たない水深の所に入るなど思いも寄らないとのこと。私が、モンゴル人は騎乗したまま馬を泳がせると言う技術は無いのかなときいたところ、「それは当然ある」と威張って答えていました。夏の暑い日、馬と一緒に水浴びすることは大きな楽しみで、たてがみに掴まって馬上で水にたゆたうことは無上の喜び、とまでいいました。『馬に乗っていれば水は怖くないのか?』と思わず聞いた私に、当然のように「ああ、馬に乗っていれば別だよ」と嬉しそうにのたまいました。

なんだか目を見開かれた気がしました。馬に乗っていれば何も怖くはない、何も不自由がないというモンゴル人、こういう民族がいることは知ってはいましたが、障がい者乗馬と関係するようになった今は非常に新鮮な観点でみる事が出来ます。障がい者の皆さんが馬に乗って、普段とは違う視点で、普段にない運動能力を持つ事ができる、それが障がい者乗馬の素晴らしい所です。でもそれは馬に乗ると言う特別な状況で生み出されるものと考えていました。しかし、世界には馬に乗っている事が普通で、普段恐ろしい水の中でさえ馬上なら楽しめる人々がいるのです。馬に乗る事が特別ではなく、馬から下りた「ヒト」が特別だと考えると、障がい者乗馬を新たな地平で捉える事が出来るかもしれませんね。

妙な事を書きましたが、2010年もよろしくご指導・ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。
以上

RDA Japan 理事長 近藤誠司

写真コンテスト結果発表

今年も障がい者乗馬の現場からたくさんの力作が届きました。皆さま、ご応募を有り難うございました。昨年に引き続き、中村義久カメラマン、近藤誠司 RDA 理事長、竹田謙一副理事長の審査を経ての発表です。

- 【藤澤賞】 佐々木芳久 様（岩手県）「久々の乗馬でテンションハイ」
- 【特別賞】 更家加将 様（山口県）「ヨッコラショ」
- 【入賞】 佐々木美江 様（神奈川県）「まっすぐ歩いてよぉ～」
金田美貴 様（神奈川県）「上手にできるかな？」
佐々木芳久 様（岩手県）「動いた！」
黒沼慎太郎 様（山口県）「ハイ、チーズ！」
更家加将 様（山口県）「こんにちは！」

以上、8点です。

【藤澤賞】佐々木様には賞状とバカラのロックグラスを、【特別賞】には賞状とフォトフレーム、【入賞】の皆さまには賞状と記念品が贈られます。

中村カメラマンからの総評とひとくちアドバイスです

今回も「笑顔」あふれる素敵な写真が多く、「馬上の笑顔の記憶」というテーマ通りに馬と触れ合う楽しさがよく伝わってくる写真が集まってきました。

どの写真の笑顔も本当に素敵で、その笑顔に甲乙をつけるのは難しい事でしたが、「写真」というものの性質上、良い瞬間を捉えていると感じたものを選ばせていただきました。

ただ、普段馬と触れ合っている方はわかると思いますが、「笑顔」の先には馬自体の魅力、あるいは馬との適度な緊張関係など、直接の笑顔だけではない乗馬（馬）の魅力があると思います。

その意味では、今回は「馬上の笑顔の記憶」というテーマもあったとは思いますが、直接的なテーマに縛られず、「笑顔」の先にある、もっと乗馬（馬）を取り巻く、いろいろな場面も見たかった気がします。少し贅沢な注文かもしれませんが（笑）。

でもこの「笑顔」が起点となって、障害者乗馬、いやそれに限らず、馬を取り巻く環境が少しでも良くなって行くことを期待しています。

【藤澤賞】佐々木芳久さんの写真は、瞬間の捉え方、構図、また背景の選び方など、写真としてとても安定しています。その中でこの1枚を選んだのは、思わず握り締めてしまったように見える「右手の拳」に魅かれたから。なんだか、その拳に「やったぜ」という気持ちが伝わってくる感じがしました。また、逆光気味の光も人が浮き出す効果を生んでいると思います。

【特別賞】馬を直接見せなくても、乗馬のシーンを感じさせる良い写真です。お手伝いをする顔からも馬に乗るワクワクが伝わってきます。

* 中村義久カメラマン略歴 *

日本大学写真学科卒業（卒業時に芸術学部賞受賞）

編集プロダクション勤務を経て現在フリーカメラマンとして活躍中。馬の撮影は『乗馬ライフ』始め『競馬最強の法則』や『Number』など乗馬、競馬を問わない。他、人物撮影を中心にベネッセ、京成電鉄、千葉ロッテマリーンズなどで撮影中。

一部作品はホームページに掲載いたしますのでぜひご覧ください。

ボランティアと馬に感謝状を贈りました！

ボランティア等表彰制度は 2008 年度から始まった新事業です。今年度も、いつも活動現場を支える「ボランティアさん」と「馬」に多大な感謝の言葉が寄せられました。

【ボランティア部門藤澤賞】

・ 恵澤良子様 RDA たま（神奈川県）ご推薦

「私達 RDA たまに欠かせないスーパーボランティアの恵澤さんは、年間 30 回近くの活動にほぼ欠かさずに出席してくださっています。リーダー、サイドはもちろん、馬の調教、騎乗も任せられる方です。とても積極的で、細かい気遣いをしてくださるスーパーママさんボランティアです」

【馬部門藤澤賞】

・ 秀山号 アバロンヒルサイドファーム（神奈川県）ご推薦

「アバロンでは秀山と覆い馬場を提供し、2003 年より毎月第二日曜日のお昼の時間、RDA 横浜と協力して障害者乗馬会を開催しています。これまでに延べ 300 人以上の障害を持つ子供たちが秀山の背中を経験しました。

天才、秀山。

秀山は子供たちが大好きです。子供たちは秀山が大好きです。

秀山は木曽馬です。顔は大きく、鬃は巻毛、5 頭身でぽっちゃりとした背中とお腹。天使のプロポーションです。この体型は障害者乗馬にとっても良いのです。普通の人間に羽は見えませんが、春になり冬毛を刈るとお尻にハート・マークが現れます。本当です。どうぞ見にいっちゃって下さい。秀山は、第二日曜日、ランチをずらせて頑張ります。我儘を言いません。従順です。どんな時でも穏やかです。こどもが背上でバランスを崩しても、忍耐強く歩様を守ります。アダージョで常歩します。アンダンテで速歩します。とてもリズムカルです。秀山は背幅が広いので子供たちの足が広がります。体高が低いのも障害者乗馬では点数が高くなります。止まれ、と号令がかかると一時間でも静止しています。カラスが飛んで来ても、足元に蛇が這い出しても驚きません。ヒーレーの素晴らしいエンジン音にだって動じません。ですから子供が奇声を発しても、泣き叫んでも、安心です。そして引き馬という自分の仕事を完璧に理解していますので、リーダーもサイド・ウォーカーもあまり心配することなくお手伝いができます。秀山は障害者乗馬の訓練は一度も受けていないのに、初めての乗馬会の中からこんなに天才なのです。凄いでしょ。

秀山は頑張っています。校長先生も頑張っています。

子供たち、次の第二日曜日を楽しみに、ネ。」

【ボランティア部門】

・八島晃宏様 RDA 宇都宮（栃木県）ご推薦

「ボランティア歴 5 年半のベテラン・スーパーボラさん。朝早くから来て、馬房そうじ、馬運動までこなすタフガイです。また、馬場や馬房の修理もバッチリしてくれます。八島さんがサイドにつくと皆が安心します。リーダーも、どんな馬でも引くことができるとても頼りになるボラさんです。」

【馬部門】

・チロル号 ハローヒポ（群馬県）ご推薦

「私たちが、感謝状を贈りたい子は、15 歳のハフリンガー、セン馬の『チロル』くんです。重度の方から自立騎乗のできる方、軽乗までオールマイティに活躍しているスーパーホースです。どんな事にも物怖じしないのはあたりまえ。お仕事とプライベートはキッチリ分別できています。心優しく、人が大好き、「チロルだったら大丈夫！！」と太鼓判をおせる子。場所が変わっても、人が変わっても大丈夫！こんなに「大丈夫」「天才」が似合うスーパーホースはいません。

好きなモノはもちろん「にんじん」

苦手なモノは、ムシ（アブ）・・・でも、ハエたたきで退治してもらうのを待っているおちゃめなトコロもあります。

来年の 3 月には、16 歳になりますが、まだまだ一緒に、元気に楽しく活動できますように。

*ちなみに、かなりのイケメンです！！」

・夢号 RDA たま（神奈川県）ご推薦

「夢号は道産子の 12 才牝馬です。

こちら活動にはフルで参加している、安定感も良く、おとなしく、とても丈夫な子です。

毛色もめずらしく、大きさも丁度良いので、とても皆から愛されています。

体力もとてもあり、頑張りやです。

RDA たまのキャンバン娘です！」

・アシュレー号 RDA 宇都宮（栃木県）ご推薦

「来年 24 歳になる長寿の馬です。とてもおとなしく、初めての乗り手さんを安心して乗せることができます。最長老ながらも、重度の子を乗せることもできるスーパーホースで、乗り手やボラさん、皆から愛されています。毛色もパロミノで、とても美しいです。冬には毛がもじゃもじゃになり、白クマみたいになる、かわいい一面もあります。」

以上、【藤澤賞】江澤様、秀山号（ご推薦者様）には賞状とバカラのロックグラスを、他のボランティアさんと 3 頭の馬には感謝状と記念品をお送りします。

ご推薦を有り難うございました。

以上の内容をホームページにも掲載いたしますのでぜひご覧ください。

尚、【藤澤賞】作成にあたりましては、グローブエクワイン様、六本木磁器倶楽部様に大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

パカポコ山口よりおたよりをいただきました

RDA Japan では、「障がい者乗馬活動を始めたいから指導者がほしい」「日々の活動のなかで医療的な疑問を感じる」・・・こういった活動現場のニーズにお応えできるよう、インストラクターを始め、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）など可能な限り活動地域近隣の人材を紹介する活動を行っています。

今回はその事業を活用したパカポコ山口からおたよりをいただきました。

「パカポコ山口では乗り手に重い身体障害の方が多くなったり、以前からの乗り手の体が大きくなって、介助の方法が難しい。安全で楽な介助方法を教えてほしいという依頼をした。2009年度に3回作業療法士の派遣。」

・パカポコ山口 インストラクター 柴尾小百合

「当会は、2001年の活動開始時より、比較的重度の身体障害児の参加があった。

当初は、体の小さな子供達であった彼らも年月の経過に伴い成長し、小さなポニーではバランスを取る事が難しくなった。

また子供達自身も大きくなったことから、両サイドから支える事自体が困難になり、どう介助したら良いか戸惑う事が多くなった。

これまでも PTOT のボランティアはいたが、乗馬経験は無かったため、馬の動きを乗り手に生かすことが難しかった。

そんな時 RDA Japan の人材派遣事業を知り、乗馬経験豊富な OT である林原氏を派遣していただいた。

林原氏には、乗り手に対して適切な介助を実践していただくと同時に、会の PTOT にも OT としての立場からサイドウォーカーのあり方を指導していただいた。

そのおかげで、当会の PTOT 達も馬の動きに興味を持ち、自分達のこの会での役割を自覚してくれるようになった。

彼らのモチベーションを損なうことなく、いつの日か自立した安全な活動ができるよう、今しばらく林原氏のお力をお借りしたいところである。」

・RDA 作業療法士 林原千夏

「パカポコ山口は幸い PT,OT の参加が多くあり、『ボランティアの PT,OT をサイドウォーカーに育てていくこと。インストラクターの視点、安全に楽しく行えること。馬場の工夫。』を目標に乗馬会時に OT が参加。

乗馬時の介助方法、評価方法、クッションの選択（地元 PT に作成依頼も行う）、知的障害の乗り手が上肢を使用するように方向付ける方法、楽しく馬に乗るレッスン方法等を指導した。

3 回目の乗馬会で PT が廃材でクッションを作成し持参してくれた。

サイドウォーカーが出来る PTOT が数人育ちつつある。

これからが楽しいな団体である。」

Information

障がい者乗馬インストラクター募集！

やる気と熱意のあふれる方の応募をお待ちしています。まずはボランティア参加からでも構いません。
乗馬経験（日馬連B級、全乗振2級資格相当）のある方。

一定期間の研修有り。

勤務日、給与等は応相談。

興味がある方は、遠慮なくお問い合わせください。

問合せ：RDA 横浜事務局（野口）080-5382-9188 info@rda-yokohama.jp

障がい者乗馬啓発の旅 『九州 馬の旅』

平成18年北海道を皮切りに、東海道、山陽道と続いた馬の旅はいよいよ九州へ。

2月23日に北九州を出発して、鹿児島までの470キロの旅を予定しています。

詳細は「NPO 青い風牧場 馬とふれあう会」下記連絡先をお願いします。

事務局 FAX：045-903-4666 E-mail：umafure@nac-c.co.jp

人材紹介登録のお願い！！！！

「障がい者乗馬活動を始めたいから指導者がほしい」「日々の活動のなかで医療的な疑問を感じる」・・・RDA Japan ではインストラクターを始め、理学療法士、作業療法士とのネットワーク作りを大切にしています。現場のニーズにお応えできるよう、可能な限り活動地域近隣の人材を紹介するシステムを構築中です。

そこで**インストラクター、理学療法士、作業療法士、馬のプロフェッショナルなどありとあらゆる RDA 活動の一員となってくださる方を正会員から募集**いたします。

興味のある方、登録を希望なさる方、また疑問・質問なども、どうぞ**事務局までご連絡**ください。

RDA Japan 認定団体のお知らせ

RDA Japan では、3年ごとにユニットを認定しています。新規のお申し込みも随時受け付けておりますので、詳しくは、事務局までお問い合わせください。

RDA Japan 関係団体の定例乗馬会

クローバーの定期乗馬会

クローバーでは、月1回の定例乗馬会を行っています。乗馬会をお手伝いいただけるたくさんのボランティアをお待ちしています。興味のある方は是非、お問い合わせください。

日時：毎月第2土曜日 13時～16時

場所：北海道浦河町乗馬公園（覆馬場）

問合せ：乗馬ボランティアクラブ「クローバー」 飯岡さん / Tel・090-7641-8094

パカポコクラブの定期乗馬会

パカポコクラブでは、障がい者乗馬の定期乗馬会を行なっています。

ボランティアも乗り手も募集しています。たくさんの皆さんにご参加いただいて定期乗馬会を盛り上げていきたいと思っています。ご参加お待ちしております！

日時：毎月第4日曜日 10時～12時 / 毎月2回土曜日 14時～16時

場所：佐々木牧場（岩手県一関市）

問合せ：パカポコクラブ 佐々木さん / Tel・0191-82-5584

RDA 宇都宮の定期レッスン

RDA 宇都宮では、障がい者乗馬の定期レッスンを水・金・土・日・月曜日に実施しています。

皆さんのお力添えをお願いします。

定期レッスンをお手伝いいただけるたくさんのボランティア参加をお願いいたします。

場所：RDA 宇都宮（栃木県宇都宮市）

問合せ：RDA 宇都宮 井原さん / Tel・090-3530-9256 ホームページ：<http://www.rdau.com>

RDA横浜の定期レッスン ボランティア募集

RDA横浜では、火・水・金・土曜日（各日とも主に午後）に定期レッスンを行っています。レッスンをお手伝いいただけるたくさんのボランティア参加をお願いいたします。

場所：横浜乗馬倶楽部（三ツ沢公園内）

【横浜市営地下鉄・三ツ沢上町駅下車、徒歩5分 / バス停・三ツ沢グランド前下車、徒歩2分】

問合せ：RDA横浜 野口さん / Tel・080-5382-9188 ホームページ：<http://www.rda-yokohama.jp/>

NPOゆきわりそう ハローヒポの障がい者乗馬教室

定期レッスンを毎週木・土・日曜日におこなっています。

馬に乗るだけでなく、世話や作業、ふれ合いを通じ馬と親しみ、社会性や情緒を育てることを目的とし活動しております。ボランティアのご協力をお願いします。

場所：群馬県安中市松井田町行田52 NPOゆきわりそう ハローヒポ Tel・027-380-7088

問合せ担当：黒田さん ホームページ：<http://www.yukiwari.org/hellohippo/>

RDA たまの定期レッスン

RDA たまでは障がい者乗馬の定期レッスンを行っております。

レッスンをお手伝いいただけるボランティアの参加をお願い致します。

2月の予定：7日、10日、21日：定例馬とふれあう会 13時～

：3日、17日：馬車 13時～

3月の予定：7日、9日、21日、26日：定例馬とふれあう会 13時～

：17日、31日：馬車 13時～

場所：横浜市青葉区元石川町「青い風牧場」

問い合わせ：FAX 045-903-4666 / TEL 090-9014-3832

Eメール：umafure@nac-c.co.jp

ホームページ：<http://www.nac-c.co.jp/umafure/top.html>

ぽちっと裏方紹介

理事 浅利 和人（あさり かずひと） です

こんにちは。理学療法士の浅利和人です。理学療法士は病院でヒトを相手にリハビリテーションをする仕事ですが、現在の私の患者さんは犬と猫が中心です。あちこちの動物病院で、病気や手術直後の犬猫に対してリハビリテーションをしています。また月に何日かは障がいのある方の乗馬をお手伝いしています。

ウソのような本当の話をしましょう。今年に入ってまだ数週間しか経っていませんが、犬に噛まれること4回、猫に噛まれること2回、サルとアライグマに1回ずつ引っかけられました。みんな私の大切な患者様です。昨年はたくさんの動物のリハビリをしましたが、噛まれることなんて1度もなかったのです。さらに元日にはポニーに腰を噛まれて、おまけに新年早々落馬もしております。何か私に憑いているのでしょうか。

障がい者だけでなく高齢者にも安全に乗馬を楽しんでいただく。もうひとつの私のテーマです。昨年はヨワイ 91歳のお嬢様に乗馬を楽しんでいただくことができました。今年は古くから関わっているいくつかの老人ホームに馬を連れて行って、もっとたくさんの方に楽しく安全に乗馬を楽しんでいただく計画を立てています。

ヒトを元気にする。動物も元気にする。それで自分も元気になる。今年もそんな1年で頑張っていきます。どうかよろしくをお願いします。

理事 河合 正人（かわい まさひと） です

私のウマとの出会いは大学2年生の冬、北大附属牧場での「ヒトを乗せたことのないドサンコにウマに乗ったことのないヒトが乗ってみる」という、言葉にするとなんとも危険極まりない乗馬実習(?)でした。（次のページへ続く）

乗り方は教わったが下り方は体験できずじまい、つまりウマから「下りる」のではなく「落ちて終わる」という学生が続出したこの実習を通して、ドサンコの変な魅力にとり憑かれた私は、当時(もちろん今でも)超マイナー分野である森林内でのドサンコの飼養管理を大学院での研究テーマとしました。「栄養」「飼料」「森林・草地」「行動」をキーワードとして、雨の日も風の日も、雪の日でもドサンコにこっついて森林や放牧地を歩き回る、そんな5年間の大学院生活を、正にドサンコとともに過ごした後、現在の帯広畜産大学に赴任いたしました。北海道十勝という酪農地帯に大学が位置しているため、現在ではもっぱら乳牛の飼養管理が中心ではありますが、ドサンコやサラブレッドなどウマの飼養についても細々と研究を続けております。他の理事の方々とは違い、障害者乗馬やアニマルセラピーに直接関わっているわけではありませんし、乗馬も馬術部などで正式に教わったわけでもなく完全我流です。そんな私でも、RDA 活動への関わりがウマの利活用、とくにドサンコを含めた在来馬の新しい活用方法開拓の一助になれば幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

ご支援に感謝いたします

企業や団体の皆さまから、たくさんのご支援をいただいております

これまで、ご支援をいただいた企業や団体の皆さまです。(敬称略、順不同をお許しください)
株式会社クリニコ / 日本ケミカルリサーチセンター株式会社 / ジェーシーアール株式会社
日本馬主協会連合会 / 凸版印刷株式会社 / 株式会社ハウフルズ / リーバイ・ストラウスジャパン
ゴールドマン・サックス証券株式会社 / 財団法人損保ジャパン記念財団 / 社団法人東京青年会議所
財団法人笹川スポーツ財団 / グレート・ブリテンササカワ / 大日本住友製薬株式会社 / カバロ東京
日本郵政公社 / モルガン・スタンレー証券株式会社 / メリアル・ジャパン株式会社 / 乗馬ライフ
独立行政法人日本スポーツ振興センター / 東京都共同募金会 / 東京マリーンロータリークラブ
財団法人日韓文化交流基金 / 株式会社カンパセーション アンド カムパニー / 北澤商事有限会社
パキウムモールド工業株式会社 / パキウムモールド販売株式会社 / 株式会社エヌケイケイ
有限会社ピアッフェ / 株式会社不動産投資研究所 / 日本エンタープライズ株式会社
財団法人ヨネックススポーツ振興財団 / 独立行政法人福祉医療機構 / 社団法人東京倶楽部
東京大崎ロータリークラブ / ハートランド牧場 / 財団法人日本社会福祉弘済会 / 株式会社リズムメディア
東関東ホースパーク / TUCK UP/桜ホテル / T&T コーポレーション

事務局から

お引越しをされた方は、新住所をお知らせください

転勤や就職、進学などで住所変更される方、また市町村合併に伴って住所表示が変更になる方もいらっしゃると思います。RDA Japan ではメール便を活用し会報等を発送しています。郵便物と違って転居しても転送されません。事務局へのご連絡は、電話、メール、郵送にてお願いいたします。なお、メールアドレスは rda@rdajapan.com です。

編集担当から

活動予定や活動報告、ご意見などを、ぜひお寄せください

RDA Japan News は、皆さまからの情報で成り立っています。
乗馬会や講習会などの情報、ご意見やお便りなどドシドシお寄せください。
次号の締切は、4月10日です。

発行：特定非営利活動法人 RDA Japan (国税庁長官 認定NPO)
〒174 - 0043 東京都板橋区坂下1 - 36 - 7 - 103
電話・080 - 6519 - 7818 Eメール・rda@rdajapan.com
ホームページ・http://www.rdajapan.com/

<郵便振替>口座番号：001000-4-32279 口座名義：RDA Japan
<銀行振込>三菱東京UFJ銀行広尾支店 普通預金 1152740
口座名義：アールディーエージャパン

